

施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	「知(地)の拠点」としての大学等との連携	所管部局名	企画振興部	施策コード	Ⅲ-1-(5)
	政策名	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、商工観光労働部	長期総合計画頁	143

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	地域課題解決に向けた県内外の大学等との連携の推進	県立看護科学大学の魅力づくり	県立芸術文化短期大学の魅力づくり

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		30年度			元年度	6年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i 県と県内大学等との連携事業数(件)	①②③	H26	100	120	167	139.2%	125	150					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	大学・短大・高専、自治体、経済団体、企業等で構成する「大学等による『おおいた創生』推進協議会」で取り組む「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(文部科学省COC+事業)」をはじめ、県内大学等との連携を推進した結果、目標値を達成した。		達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・COC+事業と連動して、学生による地域の課題解決への取組を支援することで、地域に貢献できる人材の育成を図るとともに、学生の地域への愛着を深めることができた。
②	・看護科学大学では、地域医療介護総合確保基金を活用し、中小規模病院等看護管理者支援事業を県委託事業として実施した。本事業は、県内病院の約90%を占める200床以下の病院の看護部長等看護管理者に対する外部からの支援を通じて、看護管理能力を高め、看護職員の確保定着対策の充実を図るもの。H30年度は豊肥地域と南部地域をモデル地域として取り組んだ。
③	・芸術文化短期大学では、アートマネジメントプログラムなど、魅力あるカリキュラムの編成を推進するとともに、国民文化祭・おおいた2018、全国障害者芸術・文化祭おおいた大会事業への教員・学生の積極的な参加、県内各地でのサービスラーニングの実施など、社会貢献活動に取り組んだ。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載
			総合評価	元年度の方向性	
①	地方創生大学等連携プロジェクト支援事業	10,851	B	終了	25
②	公立大学法人運営費交付金(看護科学大学)	612,618	A	継続・見直し	99
③	公立大学法人運営費交付金(芸術文化短期大学)	542,987	A	継続・見直し	24

【VI. 施策に対する意見・提言】

○平成30年度第1回大分県地方独立行政法人評価委員会(H30.8)

- ・看護科学大学には、看護科学領域においてNP(診療看護師)人材育成拠点づくりをはじめとしたブランド構築が的確に進められているため、今後の誠実な業務運営と発展を期待したい。
- ・芸術文化短期大学には、学生の就職活動をより有利に進めるため、企業との大切な接点であるインターンシップのあり方について、一層深く検討することを期待したい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育、産業、福祉、医療など様々な分野の地域課題解決を図るため、進学者の確保に向けた大学等の魅力づくり、学生による地域での実践型活動の県内各地での展開など、県内大学等との連携を推進する。 ・看護科学大学では、県の保健・医療・福祉の改善に資する研究の継続発展と地域社会への成果還元を図るとともに、公開講座や看護職者への教育や研究支援、産学官連携による研究開発などを通じた地域貢献を推進する。 ・芸術文化短期大学では、芸術系と人文系の学科の併設を生かした職業人の育成、県立美術館やリニューアルキャンパスの活用及びクリエイティブ産業との連携による教育機能の充実強化、地方創生に資する地域貢献、機能充実のための施設整備を行うことにより、魅力ある大学づくりを推進する。